

曜	午前	午後
1火	OPC (パソコン倶楽部) 10:00	
2水	こっとな倶楽部 10:00	キリスト教講座① 18:30
3木		
4金		
5土	掃除：楽山	
6日	ミサ9:30 (典礼：蘭岳) 7月運営委員会	
7月		
8火	OPC (パソコン倶楽部) 10:00	
9水	こっとな倶楽部 10:00	キリスト教講座① 18:30
10木	セシリアうたの会10:00	
11金		
12土	ミサ 10:00 キリスト教講座②ミサ後 掃除：楽山	
13日	集会祭儀 9:30 (典礼：太平洋) 例会日	
14月		
15火	OPC (パソコン倶楽部) 10:00	
16水	こっとな倶楽部 10:00	キリスト教講座① 18:30
17木		
18金		
19土	苦小牧地区女性大会10:00~14:30	
20日	ミサ 9:30 (典礼：白鳥)	
21月		
22火	OPC (パソコン倶楽部) 10:00	
23水	こっとな倶楽部 10:00	キリスト教講座① 18:30
24木	セシリアうたの会10:00	
25金		
26土	ミサ 10:00 キリスト教講座②ミサ後 掃除：楽山	
27日	集会祭儀 9:30 (典礼：楽山) ミニ大掃除	
28月		
29火	OPC (パソコン倶楽部) 10:00	
30水	こっとな倶楽部 10:00	キリスト教講座① 18:30
31木		

寄り添う教会



6月1日
協会前庭の牡丹
です

	6月	7月	8月	9月	
第1ミサ	太平洋	蘭岳	楽山	白鳥	
第2 ※	白鳥	太平洋	蘭岳	楽山	奇数月:集会 偶数月:ミサ
第3ミサ	楽山	白鳥	太平洋	蘭岳	
第4集会	白鳥	楽山	白鳥	太平洋	
第5 ※	蘭岳		楽山		6月:集会 8月:集会
掃除当番	白鳥	楽山	蘭岳	太平洋	

**室蘭ブロック
壮年大会**
6月28日(土)
15:00~開始
6月29日(日)
11:30解散
会場
室蘭教会
申込締め切り
6月15日

第55回 カトリック苦小牧地区
女性大会
女性大会のこれから
霊による会話 講師: Sr.松宮るみ子氏
2025.7.19(土)
10:00~14:30
会費(弁当・飲み物) 1200円
カトリック東室蘭教会
申込み・問い合わせ先
カトリック東室蘭教会
0143-44-3851
杉岡 亜美・香島のリ子

2025
6/8
ひとつになろう
カトリック東室蘭教会広報誌 毎月第2日曜発行
C+IC
カトリック東室蘭教会
CATHOLIC HIGASHIMURORAN CHURCH
〒050-0073
室蘭市宮の森町4-9-7
☎0143-44-3851

2025年5月25日(日) 午後5時(日本時間26日午前0時)から行われた、教皇レオ十四世のサン・ジョヴァンニ・イン・ラテラノ大聖堂入堂・着座ミサにおける説教(原文イタリア語)



牧者、そして第一にわたしにおいて。朗読された聖書箇所は、わたしたちがこのことについて考察する助けとなることができます。

とくに使徒言行録(15・1-2、22-29参照)は、最初の共同体が、福音の告知を異教世界に開放するという課題にいかにか立ち向かったかを語ります。これは簡単な手続きではありませんでした。多くの忍耐と、相互に耳を傾けることを必要としたからです。それはまずアンティオキアの共同体内部で行われました。そこでは兄弟たちが対話によって——時には言い争いながら——ともに問題を定義するに至りました。その後、パウロとバルナバがエルサレムに上りました。彼らは自分たちで決定を行いませんでした。彼らは母教会との交わりを求めて、謙虚にそこに赴いたのです。

ご列席の枢機卿の皆様、とくにローマ教区の総代理の(バルダッサレ・レイナ)枢機卿、補佐司教とすべての司教、親愛なる司祭の皆様——主任司祭、助任司祭、わたしたちの共同体の司牧のためにさまざまな資格で協力しているすべての方々——、また、助祭、男女の修道者、行政当局者、そして親愛なる信者の皆様に心からご挨拶申し上げます。

ローマ教会は、ペトロ、パウロと数えきれない殉教者のあかしを基盤とした、偉大な歴史の相続人です。そしてそれは独自の使命をもっています。この大聖堂のファサードの銘文の「すべての教会の母」(Mater omnium Ecclesiarum)に示されるとおりです。

教皇フランシスコは、しばしば、教会の母としての次元と(使徒的勧告『福音の喜び』46-49、139-141 [Evangelii gaudium]、「一般謁見講話(2016年1月13日)」参照)、その固有の特徴を考察するように招きました。すなわち、優しさ、進んで犠牲をささげる態度、耳を傾ける力です。この耳を傾ける力は、人を助けるだけでなく、しばしば、それが表明される前に必要と期待を先取りすることができます。これらの特性が、このわたしたちの大きな教区家族を含む、神の民の至るところで成長することを望みます。信者、司

ペトロと使徒たちがエルサレムにいて、彼らの話を聞きました。こうして対話が始まり、ついにそれが正しい決定をもたらしました。新たな改宗者の負担を認識・考慮して、彼らに過度な重荷を負わず、本質的なことがらを求めるにとどめることが合意されました(使15・28-29参照)。こうして、問題と思われたことが、すべての人にとって考察と成長の機会となったのです。

しかし、聖書箇所は、出来事のたんなる豊かで興味深い人間的ダイナミクスを超えた、それ以上のことをわたしたちに語ります。

エルサレムの兄弟がアンティオキアの兄弟にあてた手紙で決定を知らせたことばが、そのことを示します。彼らはこう書き送ります。「聖霊とわたしたちは……決めました」(使15・28参照)。すなわち、彼らが強調したのは、出来事の中で、他のすべてのことを可能にしたもっとも重要なことは、耳を傾けること、すなわち神の声に耳を傾けることだということでした。こうして彼らはわたしたちに思い起こさせてくれます。交わりは何よりもまず「ひざまずくこと」、すなわち祈りと絶えざる回心への努力によって築かれるということです。実際、このような緊張関係によっ

2025年度 第2回運営委員会 議事録

2025年6月1日(日)11:05~11:55

議事録1. は、開催日時は表題のとおりです。議事録3. は出席者名で省略します。

3. 報告:

3.1, 6月・7月・8月の予定

6月

- 1日(日) 主の昇天(祭日) ミサ(太平洋地区当番)
ミサ後6月の運営委員会
- 8日(日) 聖霊降臨の主日ミサ(白鳥地区典礼当番)
例会日、信徒大会実行委員会第1回13:30(東)
- 15日(日) 三位一体の主日, ミサ(楽山地区典礼当番)、
- 22日(日) キリストの聖体, 集会祭儀(蘭岳地区典礼当番)、ミニ大掃除
- 29日(日) 祭日聖ペトロ聖パウロ使徒、
集会祭儀(白鳥地区典礼当番)

7月

- 6日(日) 年間第十四主日, ミサ(蘭岳地区典礼当番)
ミサ後7月の運営委員会
- 13日(日) 年間第十五主日, 集会祭儀
(太平洋地区典礼当番)、例会日
- 19日(土) 苦小牧地区女性大会(東室蘭教会)
- 20日(日) 年間第十六主日, ミサ(白鳥地区典礼当番)
- 27日(日) 年間第十七主日, 集会祭儀
(楽山地区典礼当番)、ミニ大掃除

8月

- 3日(日) 年間第十八主日, ミサ(楽山地区典礼当番)
- 10日(日) 年間第十九主日, ミサ(蘭岳地区典礼当番)
壮年・女性部例会日
- 15日(金) 聖母被昇天の祝日 ミサ 10時~
- 17日(日) 年間第二十主日, ミサ(太平洋地区典礼当番)
- 24日(日) 年間第二十一主日, 集会祭儀
(白鳥地区典礼当番)、大掃除
- 31日(日) 年間第二十二主日, 集会祭儀
(太平洋地区典礼当番)、

※毎週の行事(変更の場合あり)

- ・火曜日午前10時~OPC(パソコン倶楽部)
- ・水曜日午前10時~こっとな倶楽部
- ・水曜日午後6時30分~キリスト教講座①
- ・木曜日第2,4木曜日セシリアうたの会10:00
- ・第2及び第4土曜日午前10時~ミサ、
その後キリスト教講座②

3.2 2025年度第一回室蘭ブロック会議(5/1)について
各教会の情報交換を行ったが、各教会とも少子高齢化により教会運営が難しくなっていることが報告され、葬儀など互いに助け合うことが必要となっているこいとが確認された。

3.3 苦小牧地区連絡協議会(5/18)について
各教会の報告の後、今年度の地区の行事の確認があった。検討事項はなし。

3.4 財務報告
今のところ特に問題点はない。

4. 議事:

4.1 室蘭ブロック壮年大会について

日時: 2025年6月28~29日 28日15時開会、29日11時30分解散
場所: 室蘭教会 宿泊: 室蘭教会
講師: ライヤ神父 講話の後: ライヤ神父来日55周年記念パーティー
参加費: パーティー参加者 3,000円 講話のみ参加 1,000円
女性の参加も歓迎
申込締切: 6月15日(日)各教会まとめて
講話のみの参加費と宿泊の場合の費用の確認をすることとした。また、女性の宿泊についても確認することとした。

4.2 苦小牧地区女性大会について

日時: 2025年7月19日(土)
場所: 東室蘭教会
講師: Sr, 松宮るみ子氏
当日、こっとな倶楽部の作品販売を計画している
ので、前日にテント、テーブルの準備をする。

4.3 韓国巡礼旅行について

日時: 2025年9月29日(月)~10月2日(木)
主催: 苦小牧地区・室蘭ブロック4教会
世話会社: (株)イー・エム・プランニング
参加費: 160,000円(税及び燃油チャージ他含む)
定員: 16名(司祭2名含む)先着順で定員を超えた場合は調整もあり
特に質問意見は無かった。

4.4 バザーについて

日時: 2025年9月28日(日) 日程は決定。
メニュー等について 特に、食堂を再開するか
どうかの検討を女性部に依頼した。
また、登別には例年通り共催とし、室蘭にも打診
をする。ただし場所のみ。

4.5 6月からのミサ、集会祭儀の典礼当番について
4ページの表をご覧ください

4.6 信徒大会について

実行委員会を立ち上げ詳細を検討する。第一回6月8日(日)の予定。組織の検討。

4.7 その他

・Softbank 通信アンテナの件: 教会敷地にアンテナを建てたい。(資料あり)
場所は未定(現在杭のあるところを指定されているが、裏に移すことを強く希望する)

5. 司祭の予定等:

5.1 ライヤ神父様の予定: 後日、お知らせに掲載

6. ミサ・集会祭儀の予定

6/01 ライヤ師 6/08 小林師 6/15 ライヤ師
6/22集会 6/29 集会
7/06 ライヤ師 7/13 集会 7/20 ライヤ師
7/27 集会、

て初めて、わたしたちはおのおの、自らのうちに「アッパ、父よ」(ガラ4・6)と叫ぶ霊の声を聞くことができます。そして、その結果として、他者に兄弟として耳を傾け、理解することが可能になるのです。

福音も、人生の決断においてわたしたちが独りきりでないと語ることによって、このメッセージを繰り返します(ヨハ14・23-29参照)。霊がわたしたちを支え、進むべき道を示し、イエスが話したことをすべてわたしたちに「教え」、「思い起こさせて」くださいます(ヨハ14・26参照)。

聖霊はまず、わたしたちのうちに深く刻まれた主のことを教えます。それは、掟に関する聖書のたとえによれば、石の板ではなく、わたしたちの心に書かれたことばです(エレ31・33参照)。それは、互いに「キリストの手紙」(二コリ3・3参照)となるまでにわたしたちが成長するように助ける、たまものです。まさにそのとおりです。わたしたちは、霊に引き寄せられ、造り変えられて、霊の力によって心が清められ、ことばが単純になり、望みが誠実で透明になり、行動が寛大になればなるほど、福音をいっそう告げ知らせることができるようになるのです。

ここで、「思い起こす」という、もう一つの動詞が現れます。それは、体験し、学んだことに立ち戻って心の注意を向けることです。意味を深く理解し、すばらしさを味わうために。

このことに関連して、わたしは、ローマ教区がここ数年に始めた重要な取り組みのことを考えます。それはさまざまなレベルで耳を傾けることによって行われています。すなわち、課題を理解するために回りの世界に耳を傾けることと、必要を理解し、福音宣教と愛のわざの優れた預言的な取り組みを推進するために、共同体内部に耳を傾けることです。これは、今も継続中の困難な歩みです。きわめて豊かで、同時にきわめて複雑な現実を捉えることを求めているからです。しかしそれはこの教会の歴史にふさわしいものです。この教会は、大胆な計画に限界なく取り組み、新たな骨の折れる見通しにも立ち向かうことによって、「大きく」考えることができることを何度も示してきたからです。

このことは、教区全体が、最近、聖年のために、巡礼者を受け入れ世話することや、他の多くの取り組みに努めてきた、多大な努力に示されています。

多くの労力に感謝します。ローマは、時として非常に離れたところから来た人々にとって、開かれた、居心地の良い大きな家として、とくに信仰の暖かい家庭として、見なされています。

わたしとしては、わたしに可能なかぎり、すべての人に耳を傾けるこの大きな作業に加わり、一緒に学び、理解し、決定したいという望みを表明しま

す。聖アウグスティヌスが述べたとおり、「わたしはあなたがたのために司教です」(『説教』[Sermo 340, 1]参照)。わたしも皆様をお願いします。祈りと愛を共通の一つの力にして、わたしを助けてください。聖大レオのことばが述べるとおりです。「わたしたちが奉仕職において行うすべての善は、キリストのわざであって、わたしたち自身のわざではない。なぜなら、わたしたちはキリストなしに何事もなしえないからである。しかしわたしたちはキリストをたたえる。わたしたちのわざのすべての効果はキリストに由来するからだ」(『説教』[Sermo 5, de natali ipsius, 4])

終わりに福音ヨハネ・パウロー

世が、1978年9月23日に、すでに「ほほえみの教皇」と呼ばれた、明るい落ち着いた顔で、新しい教区家族に挨拶したことばを引用したいと思います。「聖ピオ十世は、ヴェネツィアの総大司教となった際、サンマルコでこう叫んだのです。『ヴェネツィアの民よ。あなたがたを愛していなければ、わたしはこの座にいたでしようか』。同じことをわたしも申し上げます。ローマの皆さん、約束いたします。あなたがたを愛します。皆さんへの奉仕に加わることでだけが望みです。わたしにあるもの、またわたし自身が、いかに小さなものであろうとも、この弱い力を、皆のためにささげてまいります」(「ローマ司教着座式ミサ説教(1978年9月23日)」)。

わたしもわたしのすべての愛情を、皆様との共通の歩みにおいて、喜びと悲しみ、労苦と希望を分かち合いたいという望みとともに、表明します。わたしも、「わたし自身が、いかに小さなものであろうとも」、皆様にわたしをささげます。そして、聖ペトロとパウロと、その聖性がこの教会の歴史とローマの道を照らした他の多くの兄弟姉妹の執り成しにこのことをゆだねます。おとめマリアがわたしたちに同伴し、わたしたちのために執り成してくださいますように。



Leo P.P. XIV